

情報通信審議会情報通信技術分科会 CISPR 委員会（第 27 回）
議事録

第 1 開催日時

平成 20 年 9 月 2 日（火） 10 時 00 分～11 時 10 分

第 2 開催場所

三田共用会議所 4 階 第 4 特別会議室

第 3 出席者（順不同、敬称略）

主査：杉浦行

委員：雨宮不二雄、篠塚隆、塚原仁、藤原修、山中幸雄、井上正弘、岡本
和比古、上芳夫、栗原雅幸、黒田道子、田島公博、千代島敏夫、
長沢晴美、野本俊裕、平伴善光、松本泰、山口高、

関係者：長部邦廣、小玉博一、田中信昭、野田臣光、平田真幸、吉岡康哉

総務省：杉浦電波環境課長

事務局：大泉電波環境課電波監視官、元村係長

第 4 議事次第

1 開会

2 配付資料の確認

3 議事

（1）CISPR 委員会（第 26 回）議事録案の承認

（2）CISPR 大阪会議対処方針

（3）CISPR 大阪会議について

（4）その他

4 閉会

第 5 議事概要

（1）事務局から配付資料の確認があった。

（2）資料 27-1 前回議事録（案）について修正意見があれば 9 月 8 日（月）までに事務局あてに連絡することとして承認された。

（3）資料 27-2 『CISPR 委員会報告（案）— CISPR 委員会審議状況及び大阪会議対処方針について』の資料に基づいて、杉浦主査から説明があった。

審議の結果、資料について主に次の点で見直しをしたのち次回委員会に諮ることとなった。

- ・本文内の数値などについて、再度、確認する。
- ・別紙 1 の 3 項及び別紙 3 については、各グループの主任が内容を確認する。

その他、今回の CISPR 総会の議題である、複数の許容値と試験方法を CISPR 規格に規定することの是非について全体に諮った結果、基準となる測定法なしに複数の測定法の併用が認められるようなことになれば、各々の測定法により得られた結果について同等性を求めようとしても、現実的には無理があると考えため、日本としては、基準となる試験方法を明示することを推進していく立場をとることとされた。

(4) 資料 27-3「CISPR 大阪会議の概要」に基づいて、杉浦主査から説明があった。

(5) その他

次回は 9 月 29 日に開催予定。その際、総会対処方針の最終版と各グループ会議の対処方針案などを審議する。

以 上